

地 域 再 生 計 画

- 1 地域再生計画の名称
誘致企業・住民・行政の連携によるシマ（うけん）の活性化
- 2 地域再生計画の作成主体の名称
鹿児島県大島郡宇検村
- 3 地域再生計画の区域
鹿児島県大島郡宇検村全域

4 地域再生計画の目標

宇検村は、鹿児島県本土から南西380kmの海上にある奄美大島本島の南西部に位置し、総面積103.02km²、人口2,048人で14の集落から構成されている。総面積の90%以上が山岳地帯で占められ、奄美最高峰(694m)の湯湾岳があり、頂上一帯には学術上貴重な動植物が生息している。気候は亜熱帯海洋性で、四季を通じて温暖であり、珊瑚礁や原生林、島嶼特有の文化が息づく、自然資源に恵まれた地域である。

本村では、「奄美文化の源・活力と連帯あふれるむらづくり」を基本理念とした第4次宇検村長期振興計画を平成15年に策定し、本村の特性を活かした産業振興、地域住民をはじめ誰もが住みたいと思うむらづくりを目指し、各種施策を展開している。しかし、若者の流出や少子高齢化により人口は確実に減少し、3集落が限界集落に位置づけられ、地場産業の低迷や経済・雇用不振等多くの課題がある。

農業に関しては、農用地面積97haで主にたんかん(果樹)とサトウキビが栽培され、最近パッションフルーツ・マンゴー等の亜熱帯性果樹の栽培も行われている。本村としても、たんかん・サトウキビを主要品目として、畜産・かぼちゃ・亜熱帯性果樹との複合経営を推奨し、農家の育成及び農業の振興を図っているが、零細な経営基盤に加え、農業者の高齢化、後継者不足により農用地の利用率が低下しているのが現状である。今後は、農業生産法人や建設業等の農業分野参入による労働力を活用し、農用地の利用集積、育成支援等による経営体の育成を推進する。また、資源循環の観点から村内のバイオマスを活用し、農家の生産性向上のためにも、現在の廃棄処理から堆肥化・飼料化へ変換し、良質堆肥・飼料の安定供給に取り組んでいく。

産業に関しては、平成8年に誘致した黒糖焼酎製造会社が順調に業績を伸ばしており、黒糖焼酎の他、リキュールや黒糖焼酎粕を利用したもろみ酢等の製造販売を行い、本村の基幹産業に成長している。今後も、工場の規模拡大とバイオマスタウン構想による堆肥センターの建設を計画しており、雇用の創出が見込まれる。

観光に関しては、年間の入り込み客数が約2万4千人で、その大半が通過型の観光形態となっており、本村への経済効果は少ない。今後は、地域特性を生かしたグリーン・ブルーツーリズム、エコ・ツーリズムなどの自然体験型観光の開発やメニューを充実させることにより、滞在型観光を推進し経済効果を高めていく

必要がある。また、黒糖焼酎・農産物の他には村の特産品と言えるものが少なく、本村独自の特産加工品生産と販路の拡大を行うことも喫緊な課題となっている。

このような状況に対応するため、誘致企業・住民・行政の連携を強化し、農業・農業関連産業と連動させた観光業の創生を柱とした地域産業の活性化を目指していく。しかし、外海離島という地理的ハンディから、各分野での指導者不足や専門的な知識や技術を持った人材が不足しており、限られた研修派遣やセミナーでは人材の育成の場が少ないのが現状である。

そこで、地域雇用創造推進事業を活用し、島内外での研修を充実させ人材育成を行うことにより、雇用機会の創出、拡大を図り宇検村の再生を目指すものである。

地域再生計画における数値目標

○農業・農業関連産業における新規雇用者数

6人： 常雇3人 常雇以外3人

○焼酎製造技術者・堆肥製造技術者新規雇用者数

8人： 常雇5人 常雇以外3人

○観光業にかかる新規雇用者数

7人： 常雇6人 常雇以外1人

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

本村が今後発展するためには、基幹産業の農業・農業関連産業と誘致企業及び行政の連携を強化し、地域産業をさらに活性化させる必要がある。そこで、地域雇用創造推進事業による支援措置を活用した人材育成を行いながら、本村の有する地域資源を活かした地域産業の振興を図っていく。具体的には、農業生産法人の生産面積拡大に伴う建設業等の農業分野への進出・創業支援、誘致企業の規模拡大に伴う新規求職者への技術研修、観光・特産品に係るインストラクターなどの人材育成等を行う。また、これらの事業と本村独自の事業を一体的に推進し、新たな雇用の創出や就業の支援を図り、地域の活性化を目指す。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当無し

5-3 その他の事業

5-3-1 支援措置による取組

【B0902】地域雇用創造推進事業（厚生労働省）

(1) 実施主体 宇検村雇用創造促進協議会

構成員：宇検村、宇検村商工会、JAあまみ宇検支所、宇検村漁業協同組合、宇検村健友会、株式会社宇検村元気の出る公社、株式会社奄美大島開運酒造、宇検村シマ時間体験センター、宇検村地域女性団体連絡協議会、宇検村生活研究グループ、宇検林産株式会社、有限会社奄美大島宇検農産、有識者

(2) 実施期間

平成20年度から平成22年度まで

(3) 実施事業

① 農業・農業関連人材育成事業

近年、たんかん・マンゴー・パッションフルーツ等の亜熱帯農作物と誘致企業の酒造会社への黒糖の需要が伸びているが、農業従事者の高齢化、後継者不足により遊休農地が増加し生産量が伸びず、需要に追いつかない状況にある。酒造会社においても、焼酎製造用の村内産黒糖・リキュール製造用の果樹が不足しているため、関連企業の農業生産法人において、サトウキビや果樹の生産面積拡大を計画している。

このような中、公共事業減少に伴い、建設業などの景気が低迷しているため、建設業者等によるサトウキビ・果樹栽培など農業分野への事業拡大が進んでいる。この労働力を活用し、基盤整備地の荒廃を防ぎ、遊休農地の解消を図っていく。

農業生産法人や新規就農者に亜熱帯農作物・サトウキビの栽培研修を実施し、建設業者等の農業分野への進出・創業支援を行うことにより、雇用の創出を図る。

(具体的な事業)

- 他地域での成功事例を用いたセミナーの開催
- 有識者・コンサルタントなどによる経営指導・支援
- 園芸作物栽培研修
- 果樹園芸作物栽培研修

② 焼酎製造・堆肥製造技術者育成事業

a. 焼酎製造技術者育成

誘致企業の酒造会社は、年々業績を伸ばし、奄美群島でも1、2位の焼酎生産量の企業に成長し、本村の重要な産業となっている。これまで音響熟成等の最新技術による焼酎づくりで規模拡大を行ってきたが、最近の消費者ニーズに対応するために、昔ながらの製法で付加価値の高い焼酎造りを行う体験型工場を21年度中に整備する予定であり、当施設の稼働に伴い、新たな焼酎製造技術者の雇用が見込まれる。

酒造会社としても、基本的な酒造りの知識や技術を習得している人材を欲していることから、講習、研修会を開催することにより村内求職者の雇用機会の創出を図る。

(具体的な事業)

- 伝統的な酒作りを行う酒造会社での実地研修
- 専門家による現地研修会

b. 堆肥製造技術者育成

村と酒造会社では、資源循環と農家への良質堆肥の安定供給のため、連携してバイオマスタウン構想の策定準備を行っている。それに合わせて、堆肥製造センターを建設予定しているが、堆肥製造に関する

る専門的知識を習得した人材がいいため、地元求職者を対象に、先進地研修や技術研修を行うことにより育成し、新規雇用につなげる。

(具体的な事業)

- 本島内にある奄美市笠利町有機農業支援センターでの実地研修
- 県本土の堆肥肥料製造工場での実地研修

③ 観光業振興に伴う宇検村総合案内人育成事業

本村には、世界的にも貴重な動植物が生息する奄美最高峰の「湯湾岳」や沖縄では絶滅した「リュウキュウアユ」の生息する河川等、多くの観光資源があるが、これらを活用するには至っていない。

ここ数年、体験交流施設(宿泊施設・レストラン)や活性化施設(特産品加工体験センター)等、ハード面は整いつつあるが、本村を総合的に案内できるガイドやインストラクターがいなのが現状である。

幸いにもIターンで、本村でダイビングショップ起業準備中の青年や村の総合案内的な仕事を現在検討中の人材が現れている。

今後は、単なる観光案内だけではなく、利用者の安全の確保、自然資源保護管理能力を持ち、本村の文化・歴史、自然特性を発信できる専門家を育成するために、地域雇用創造推進事業を活用し、現地研修や先進地研修を積極的に行うことにより、本村の総合案内人を養成していく。

また、平成20年度に完成する特産品加工体験センターには、本村と同じ外海離島の海士町で利用されている冷凍設備C A S (Calls Alive System)を奄美で先駆けて導入し、本村の特産品や海産物等の鮮度を保ったまま本土へ出荷できる体制を整える予定である。

地域雇用創造推進事業により、ツアープラン作成、顧客ニーズの把握、観光資源の活用方法と合わせて、特産品の生産や販売拡大に関しても、先進地の専門家を招き講習・研修会を開催する。また、これらの事業を行う上で、インターネットを利用した特産品等の販売や体験ツアーに関する情報発信は必要不可欠である。求職者や起業者を対象に、基礎的なHP作成やネットショップ開設のPC講習会を開催し、宇検ブランドを全国に発信する人材を育成する。

(具体的な事業)

- 世界遺産登録地での先進地ガイド研修
- 地元観光業の各インストラクター・ガイドによる実地研修
- 特産品の生産技術取得及び販路拡大研修
- インターネットを活用したガイド紹介・特産品販売のPC講習会

5-3-2 宇検村独自の取組

(1) ちびっ子体験学習 in 宇検村事業

① 事業内容

都会に住む子供達が、宇検村の自然を満喫し都会では味わえない体験や全国から集まる仲間達との生活を通じて、規律や仲間と助け合う楽しさや大切さを学び、互いに友情を深めることを目的として、毎年夏休み期間中に5泊6日の日程で開催。

- ② 事業実施主体：宇検村シマ時間体験センター
- ③ 事業規模：年間3,000千円
- ④ 事業成果
 - a. これまでの実績
平成18年度24名 平成19年度25名 平成20年度32名
 - b. 今後の見通し
年々、参加者も増加傾向にあり今後も事業を継続しながら都市農村交流を図る。

(2) 宇検村まるごとオーナー制度事業

- ① 事業内容
平成18年に整備された体験・交流施設を拠点として、都市住民や団塊の世代をターゲットに奄美大島宇検村をより身近に、そしてもうひとつの故郷として訪れてくれることを目的に、平成19年4月「宇検村まるごとオーナー制度」を創設。特産品(たんかん・マンゴー等)の贈呈、島内リゾートホテルへの長期無料宿泊、農地貸与などの特典が活用できる会員募集を行っている。本村ならではの魅力を積極的にPRすることで交流人口の増加を図る。
- ② 事業実施主体：株式会社宇検村元気の出る公社
- ③ 事業規模：個人会員会費500千円(4年間)
法人会員会費990千円(7年間)の会費で運営
- ④ 事業成果
 - a. これまでの実績
個人会員24人 法人会員9社
 - b. 今後の見通し
現在の会員数を2年後、個人会員50名、法人会員20社を目標に、公社、関連業者、行政が一体となって会員獲得に取組み、経営の安定を図る。

(3) シマ時間体験ツアー事業

- ① 事業内容
本村の持つ多彩な自然環境を活用して、1泊2日の自然体験・農作業体験ツアーを実施している。都会との交流人口を増やすことにより、訪れた方々に「宇検村ファン」になってもらい、宇検村を全国にPRし観光の活性化を図る。
- ② 事業実施主体：宇検村シマ時間体験センター
- ③ 事業規模：年間500千円
- ④ 事業成果
 - a. これまでの実績
平成16年度のモニターツアー開催以来、毎年20組ほどの体験ツアーを実施している。
 - b. 今後の見通し
現在、村の経済課が主体となってツアーの対応に当たっているため、民間の観光インストラクターの育成が課題となっている。今後は地域

雇用創造推進事業により観光ガイド・インストラクターを養成し、民間主導へと移行していく予定である。

(4) スポーツ合宿受入事業

① 事業内容

本村の温暖な気候条件を利用して、大学・高校を中心としたスポーツ合宿の誘致活動及び練習等の後方支援制度の充実により、来村者を増やし、観光振興を図る。

② 事業実施主体：宇検村、宇検村教育委員会

③ 事業規模：年間500千円

④ 事業成果

a. これまでの実績

平成18年度2団体70名 平成19年度3団体130名

平成20年度11団体245名

b. 今後の見通し

今後も、大学・高校の陸上部、バレーボール部等を中心に誘致活動を行い、合宿者の増加を図る。

(5) 定住促進助成金事業

① 事業内容

高齢化、若者の流出、出生率の低下等により過疎化が進行する中で、誰もが定住を希望する村づくりを目指すために、Iターン・Uターン者に対して下記の助成・優遇措置を行う。

○新規住宅助成金（上限価格1,000千円以内）

○中古住宅購入助成金（上限価格500千円以内）

○住宅改修助成金（改修費用の20%以内、上限価格300千円以内）

○保育料助成金

○村営住宅料助成金

② 事業実施主体：宇検村

③ 事業規模：年間7,500千円

④ 事業成果

a. これまでの実績

今年度はIターン者3組に対して住宅改修助成金を支給している。

b. 今後の見通し

現在、月に1、2件程度のU・Iターンの問い合わせがある。

U・Iターン者用の住宅が少ないため、今後は空き家情報の提供や公営住宅の整備も検討しながら定住を促進する。

(6) 奄美農業創出支援事業（農産漁村活性化プロジェクト支援交付金）

① 事業内容

都市住民を対象として創設された「宇検村まるごとオーナー制度」を積極的に推進し、地場産物と体験交流施設を活用し、本村ならではの魅力を積極的にPRすることで交流人口の増加を図り、地域の活性化を目指す。また、村の重点品目に指定されたマンゴーの安定した生産活動と

規模拡大を確保するため、台風災害に耐えうる共同育苗ハウスと軽量鉄骨ハウスを整備し、経営の安定を図る。

② 事業実施主体：宇検村・株式会社宇検村元気の出る公社

③ 事業規模：年間19,000千円

④ 事業成果

a. これまでの実績

作付面積の拡大 0.2ha (H18年) → 0.6ha (H19年)

出荷量の増加 2.8t (H18年) → 3.5t (H19年)

b. 今後の見込み

作付面積2.5ha (H23年度末)、出荷量23.7t (H23年度末)

6 計画期間

認定を受けた日から平成22年度末

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

宇検村雇用創造促進協議会において、毎年度アンケート調査等により雇用状況等についての検証を行い、地域再生計画の取組に対する評価をする。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし